

2026（令和8）年度

# 大阪高等学校春季テニス大会

## 団体の部

日 程 2026（令和8）年5月3日～5月17日

会 場 マリンテニスパーク北村・各学校テニスコート



大阪高等学校体育連盟テニス専門部

# 大会役員

## 大会会長

佐保田 真一 (伯 太)

## 大会委員長 (大会レフェリー)

直川 雅史 (三 島)

## 大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

大内 康弘 (泉 北)

奥井 保亘 (寝屋川)

呉田 未来 (桜 宮)

下向 真治 (渋 谷)

藤森 洋弥 (日 新)

## 大会委員 (会場レフェリー)

石井 祐耶 (旭)

石山 未悠 (大阪女学院)

犬伏 誠 (鶴見商業)

岩田 泰一 (池 田)

浦 尊博 (東住吉総合)

奥井 みなみ (桜 宮)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

岸上 啓幸 (関大北陽)

小林 大地 (桜 宮)

坂本 光男 (大商学園)

笹井 伸郎 (大商学園)

下岡 絵里 (淀川清流)

新谷 啓 (大阪産業大附属)

鈴木 将二 (登美丘)

高木 波也汰 (興 國)

田中 佳奈 (和泉総合)

玉川 敬祐 (桜 和)

辻 博規 (大体大浪商)

戸成 慶尚 (桃山学院)

中井 功 (履正社)

中村 愛美 (伯 太)

浜本 慎吾 (日 新)

守谷 静香 (難波支援)

安田 一輝 (枚方樟風)

吉藤 友香 (河 南)

**進行係** 各高等学校テニス部顧問

**進行補助員** 各高等学校テニス部部員

# 大会日程

## ■ 予選（各学校）

5月 3日（日）	男子
4日（月）	女子
5日（火）	予備日
6日（水）	予備日

## ■ 本戦

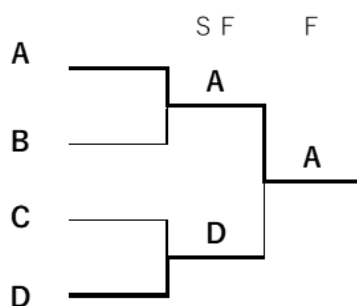
5月 9日（土）	本戦1R（ベスト32）～	M T P北村
10日（日）	残り試合・順位決定戦	M T P北村
17日（日）	予備日	M T P北村

- 本戦の選手登録に関しては、予選時の選手登録に対して、選手の入替えや登録枠内での追加登録が認められる。その場合は参加申込変更届を提出すること。
- 連休などで交通渋滞が予想されるので、試合開始予定時刻15分前に間に合うよう、選手及び付き添いの顧問または学校職員は各自注意のこと。
- 雨天の場合も原則会場に行き、次の日程の確認をすること。ただし、明らかに会場校が延期を判断できる場合は本部に連絡後会場校から延期の連絡を各代表者に伝えることがある。
- 本戦の開始予定時刻は9時（8時45分までに集合）。
- 会場校は、試合日ごとに結果を下記アドレスにメールで連絡すること。（houkoku@osaka-hs-tennis.com）



登録選手の入替え、追加がある場合は、5月7日(木)までに参加申込変更届をダウンロードし、必要事項を入力したファイルを entry@osaka-hs-tennis.com に添付し送信すること。また、参加申込変更届に校印を押し、試合当日エントリー時に提出すること。

## ■ 全国高等学校総合体育大会への出場校選考方法（出場校枠：2校）



- 優勝校(A)は、全国高校総体出場権を獲得する。
- F(決勝戦)と同時に、S F(準決勝)の敗者で順位決定戦B vs Cを行う。
- 順位決定戦でBが勝った場合、B vs Dを行い、勝者が出場権を獲得する。敗者は第一補欠となる。
- 順位決定戦でCが勝った場合、本戦の結果によりDが出場権を獲得する。Cが第一補欠となる。

男子DA校（学校番号順）

1. 清風
2. 大阪星光学院
3. 興國
4. 大阪産大附属
5. 浪速
6. 履正社
7. 大阪国際
8. 近畿大学附属

女子DA校（学校番号順）

1. 桜宮
2. OBF
3. 大阪女学院
4. 浪速
5. 城南学園
6. 大商学園
7. 大阪学院
8. 同志社香里

## 春季大会（団体戦） 注意事項

### 1. 試合会場および日程について

- 予選においては、会場校が試合開始時刻を設定し、緊急の連絡先（携帯電話番号など）も合わせて残りの学校に連絡し、指定日に試合を進めること。
- 本戦までに試合を消化できない場合は、そのブロックは棄権したものとみなす。
- 指定された試合日程に対戦しないチームも棄権したものとみなす。

### 2. 出席の届け出について

- 各チームは、あらかじめ設定された試合開始予定時刻の15分前までに、付き添い顧問と試合に出場する選手全員が更衣を済ませ出席を届けること。
- 顧問または、学校職員の付き添いがなければ失格とする。いかなる理由であれ、これを怠ったチームは失格となる。（ただし、公共交通機関の事故等で延着証明書などがある場合はこのかぎりでない。その場合、すみやかに会場校の代表者に連絡をいれること。）

### 3. 試合の順序、方法について

- 各学校1チーム、複1・単2の3ポイントの団体戦とする。
- 複、単No.1、単No.2の順に試合を行うが、進行の都合上、複と単No.1を、単No.1と単No.2を、あるいはすべての試合を並行して行うことがある。会場の係の指示に従うこと。
- 公営コートでの試合は、各日、各校の初戦は原則すべての試合を行うが、2試合目以降は勝敗が決定した時点で打ち切る。

### 4. 登録メンバーおよびオーダーについて

- オーダー用紙をHPよりダウンロードし各校で印刷し会場に持ってくること。
- 登録選手およびその順位は本要項掲載の名簿による。
- オーダーは、登録メンバー内において、各対抗ごとに単・複組み替えてもよい。複は登録メンバーの任意の2名、単については、登録順位の上位のものから、No.1、No.2とする。
- 同一人が単・複を兼ねて出場できない。
- 本戦では対戦前にオーダー用紙を本部に提出し、オーダーの確認を受けること。予選においては本部に提出する必要はない。

## 5. 試合に際して

- 試合は日程表に基づき進行するが、天候やその他やむを得ない理由により、変更することがある。代表者は必ず次の試合日程を確かめること。
- 試合は進行表（オーダーオブプレー）により行う。指定されたコートでの試合が終われば、ただちにそのコートに入り、試合を始めること。試合に入らない場合は、テニス規則にしたがって失格となる。
- 試合は本戦ベスト8以降、順位決定戦は8ゲームズプロセットマッチ、それ以外はすべて1セットマッチ（タイブレークシステム採用）とする。
- 対戦チームは試合開始前にコートに入り、整列、挨拶をし、オーダーを交換する。もし相手チームのオーダーに疑義がある場合や、互いに交換した相手校のオーダー用紙に問題が発覚した場合は直ちに確認すること。

※オーダーを間違った場合は次のように処理すること。

- ①1試合も始めていない時点で間違いが発覚した場合は、正しいオーダーに組み直して試合を始める。
  - ②試合開始後に間違いが発覚した場合は、そのオーダーを有効とする。  
(次の対戦がある場合は、正しいオーダーを提出すること。)
- いかなる場合も、登録メンバー以外の出場は認めない。
  - 1チームが構成できない場合、失格とする。
  - コートに入れる人はプレーヤー、レフェリー、ロービングアンパイアに加え、ベンチコーチとして1面に1人とする。シングルスの場合のみ各学校1面にボールパーソン1人つけることができる。
  - ベンチコーチは付き添いの顧問または学校職員のうち、オーダー用紙に記入されている方、もしくは登録メンバーに限る。
  - プレーヤーは、指定されたコートに入り、まずトスをしてサービス・エンドを決めてからウォームアップに入る。ウォームアップはサービス4本、または会場レフェリーの指示による。
  - サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。

ノーレット方式とは、サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、またはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。

- ①選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
- ②選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
- ③双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせず有効となります。

- プレーヤーは、試合中はだれからもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。エンドの交替時のみ、ベンチコーチからは可。
- 応援は、他のコートへ迷惑がかからないようにする（テニス必携『大会情報＞注意事項』参照）。
- この試合はセットブレイク方式を採用しない。（第1ゲームのチェンジエンドの休憩は認める。ベンチコーチからのアドバイスも認める。）
- 規則、注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は失格とする。
- 試合は、最初のサービスから最後のポイントまで連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。また、プレーヤーはコートを離れることは許されない。もし無断で（レフェリーの許可を得ず）離れた場合は失格する。
- 全試合、セルフジャッジとする。コートの自分のサイドの判定はプレイヤーが正しく行うこと。

- 不適切なジャッジに対しては、会場レフェリーが権限としてオーバールールする。
- 1人が連続して試合をしなければならない場合の休憩は、程度によりレフェリーが判断する。

#### 6. 服装について

- 服装は、JTA テニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴなど）は、更衣を求める。更衣しなければ失格することがある。
- 靴は必ずテニスシューズであること。
- 試合中にガットが切れた場合、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。
- ラケットにステンシルマークをつけることは認められている。

#### 7. その他

- 公営コートでは試合開始後、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することを禁止する。
- 会場へバイクや車で行くことは、選手はもちろん応援も含めて厳禁する。
- 各学校では、校舎内への立ち入りをいっさい禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分する。試合において不正があった場合も同様とする。
- 試合についての質問は、顧問及び選手のみに関り、保護者や観客はできない。
- ゴミは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないよう、最大限の協力をしなければならない。
- その他、レフェリーまたは会場校生徒（試合進行の係）の注意・指示を良く守り、テニスプレーヤーらしい行動をとること。
- JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
  1. 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
  2. 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。

#### 8. 記録の報告について

- 勝ったチームは、HPよりダウンロードし自校で印刷した結果報告用紙に結果を記入の上、会場校に提出すること。
- 会場校は、試合日ごとに結果をメール (houkoku@osaka-hs-tennis.com) で報告してください。なお、提出された結果報告用紙はデータ化し、メールに添付（PDFファイルがのぞましい）し送信してください。

件名	春季団体【男子・女子+ブロック番号】結果	※例：春季団体女子10ブロック結果
本文	女子10ブロック優勝 池田東高校 会場 池田東高校 鈴木 秀夫	※男子か女子・ブロック番号・優勝校を明記 ※ <b>顧問や学校職員などの会場責任者が送信</b>
添付	詳細結果（PDFファイルがのぞましい）	